



西中生が地域の一員として市に提言（12月5日）

西中学校の3年生が、社会科の授業で地方自治に参加しました。市の現状や課題を踏まえ、どうしたら裾野市が良いまちになるか、1クラス3人の代表者が提言しました。グループ討議では、市長や市議会議員なども加わり、その提言内容の実現について話し合いました。生徒からの提言は市の課題となっているものもあり、多くのアイデアが集まりました。

地元の農産物の即売などで大にぎわい（12月8日）

市民文化センターで第46回農業まつりが開催されました。会場内には新鮮なイチゴや野菜、そばなど地元農家自慢の農産物が勢ぞろい。他にも総菜や加工品を販売する店が並び、多くの来場者でにぎわいました。同じ会場では、農産物ほ場等審査表彰式・裾野の農業フォトコンテストの表彰式も行われ、入賞作品が展示されました。



楽しく協働のまちづくりを目指して（12月14日）

生涯学習センターで市民活動の集いが開催されました。地域の各分野で活躍する34人が参加。NPO法人みらい建設部の進行で行われました。富岡地区「嶽南ふるさと」や宮城県大崎市の高橋一夫さんの「池月地域支援サポート」の実践報告の後、グループに分かれ、さまざまな意見を出し合いながら合意形成を目指す研修をしました。

特派員：小林 建次

スポーツ振興に関する包括連携協定（12月25日）

市と㈱アールビーズとのスポーツ振興に関する包括連携協定締結式が行われました。同社はランニング雑誌の発行やイベント運営などを手掛け、スポーツ振興に取り組む全国の自治体と協定締結を進めています。今後は陸上競技の合宿誘致や、スポーツを通じた地域活性化・健康づくり、スポーツ人口の裾野拡大に向けて連携をしていきます。





市役所でギターの聞き語り演奏会 (12月25日)

市役所地階テラスでギターの弾き語り演奏会が行われました。演奏したのは、市内の介護施設などを訪問し演奏活動をしている2人組グループ「ピクルス」です。昼休みの時間帯ということもあり、市役所を訪れた多くの人々が立ち寄り、演奏に聞き入っていました。

新年の深良を走る

(1月1日)

深良地区で恒例の元旦マラソン・駅伝大会が開催されました。距離の異なる3つのコースと駅伝の部に約160人が参加。1年の健康と地域の発展を願い、深良小学校を元気にスタートしました。沿道からは地元の皆さんから温かい声援が寄せられ、全員が完走。令和2年のスタートを飾りました。

特派員：勝又 しんじ



新年に迫力ある一斉放水を披露 (1月12日)

市役所で消防出初式が行われました。消防団員らによる式典や訓練展示が整然と行われた後、一斉放水が行われました。それぞれに着色された水がホースから高々と吹きあがると、観客からは大きな歓声があがりました。フォトコンテストも同時開催され、カメラマンが団員たちの勇壮な姿を捉えていました。

二十歳の節目をともに祝う

(1月12日)

市民文化センターで成人式が行われ、二十歳を迎える617人をお祝いしました。参加した皆さんの表情は、晴れやかで、夢や希望にあふれていました。久しぶりの友人との再会を喜びながら、責任ある社会の一員として気持ちを新たにしていました。アトラクションでは、抽選会なども行われました。

特派員：権田 孝一・原 久子・杉本 武満

